

7 【分析5】学力向上総合対策事業研究指定校の状況

学力向上総合対策事業は、小学校と中学校又は中学校同士が連携し、教科指導と生徒指導の一体的な対策を行うことにより、児童生徒の学力の向上を図ることを目的として、平成24年度から平成26年度まで実施した。指定地域には小中連携地域（3年間指定）と中中連携地域（1年間指定）がある。

ここでは、本事業の取組の成果を検証・普及するため、研究指定校の状況を掲載する。

なお、中中連携地域については、1年間の指定であり、平成26年度指定地域の状況を掲載している。

※小中連携地域の小学校指定校数は、一部の学校で統廃合等があり、平成24年度は61校、平成25年度は59校である。

(1) 指定校数

タイプ別	校種	指定校数
小中連携地域（3年間指定）	小学校	61校
	中学校	25校
中中連携地域（1年間指定）	平成26年度指定中学校	21校
合計		107校

(2) 「基礎・基本」定着状況調査の教科調査の結果

小中連携地域は、「基礎・基本」定着状況調査の教科調査（タイプⅠ）の結果を平成23年度（事業開始前年度）と平成27年度と比較し、中中連携地域は、1年間の指定のため、「基礎・基本」定着状況調査の教科調査（タイプⅠ）の結果を平成25年度（事業開始前年度）と平成27年度と比較している。

《分析の概要》

- 指定校の平均通過率は、平成23年度では、小中連携地域の小学校で、国語が県平均を上回っていたが、平成27年度では、全ての教科で県平均を上回っている。また、小中連携地域の中学校は、平成23年度では、全ての教科で県平均を下回っていたが、平成27年度では、数学と英語で県平均を上回っている。中中連携地域は、平成27年度では、国語以外の教科で県平均を下回っているものの、平成25年度と比較すると、全ての教科で県平均との差を縮めている。・・・①
- 県平均を上回った指定校の割合は、小中連携地域（小学校・中学校）の全ての教科で増加している。また、中中連携地域においては、国語と数学で増加している。・・・②
- 通過率60%以上の児童生徒の割合は、小中連携地域（小学校・中学校）の全ての教科と中中連携地域の国語、数学、理科で増加している。・・・③
- 通過率30%未満の児童生徒の割合は、小中連携地域（小学校・中学校）及び中中連携地域の全ての教科で減少している。・・・④

① 指定校平均通過率

(ア) 小中連携地域指定校（小学校）

教科	国語		算数	
	H23	H27	H23	H27
調査年度				
指定校平均通過率 (%)	78.8	81.2	77.7	81.5
県平均通過率 (%)	78.5	78.3	77.8	78.5
県平均との差 (ポイント)	0.3	→ 2.9	-0.1	→ 3.0

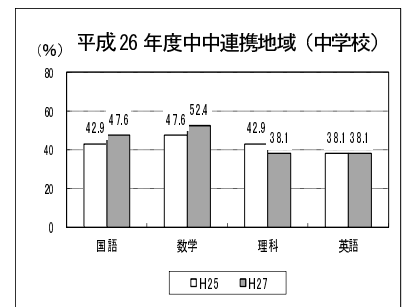
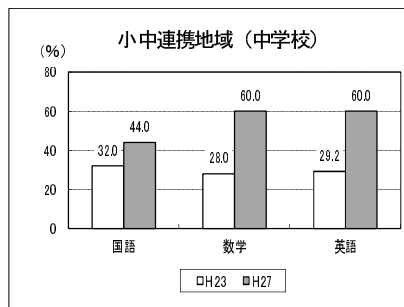
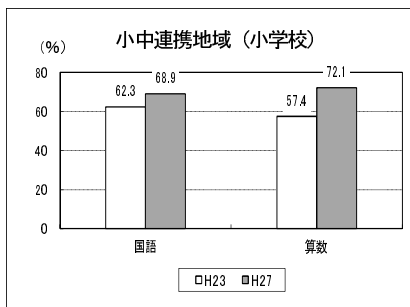
(イ) 小中連携地域指定校 (中学校)

教科	国語		数学		英語		
	調査年度	H23	H27	H23	H27	H23	H27
指定校平均通過率 (%)		71.1	75.5	71.3	75.5	64.7	72.5
県平均通過率 (%)		73.2	75.7	74.7	74.2	71.9	70.2
県平均との差 (ポイント)		-2.1	-0.2	-3.4	1.3	-7.2	2.3

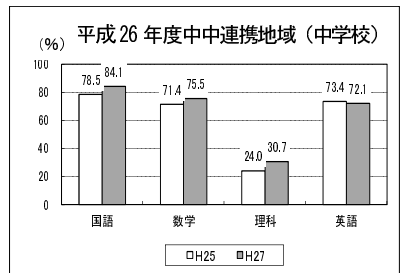
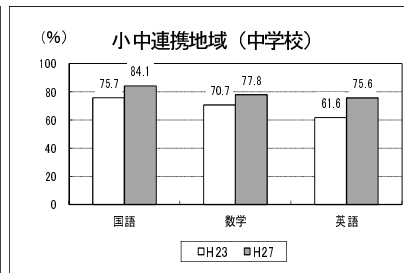
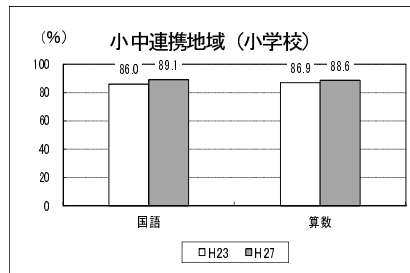
(ウ) 平成 26 年度中中連携地域指定校 (中学校)

教科	国語		数学		理科		英語		
	調査年度	H25	H27	H25	H27	H25	H27	H25	H27
指定校平均通過率 (%)		73.1	75.9	71.8	74.0	43.9	49.3	72.6	69.7
県平均通過率 (%)		73.7	75.7	72.7	74.2	45.8	51.0	74.4	70.2
県平均との差 (ポイント)		-0.6	0.2	-0.9	-0.2	-1.9	-1.7	-1.8	-0.5

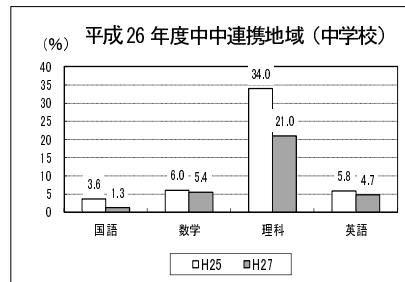
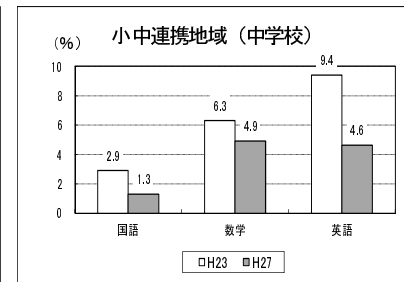
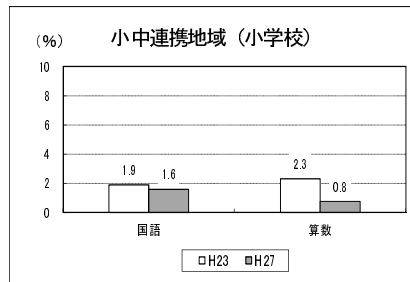
② 県平均通過率を上回った指定校の割合



③ 通過率 60%以上の児童生徒の割合



④ 通過率 30%未満の児童生徒の割合



(3) 指定校と指定校以外の学校質問紙調査の比較

学校質問紙調査の質問事項*に「よく当てはまる(よく行った, よくしている等)」と回答をした, 小中連携地域の指定校と指定校以外の学校の割合を比較した。指定校が10ポイント以上上回った質問事項のうち, 小・中学校に共通している質問事項を示す。*学校の指導方法等に関する設問のうち, 3段階及び4段階尺度法による設問のみを対象としている。

《分析の概要》

- 「基礎・基本」定着状況調査の学校質問紙において, 指定校が10ポイント以上, 上回った質問事項のうち, 小・中学校に共通している質問事項は6問である。
- 全国学力・学習状況調査の学校質問紙において, 指定校が10ポイント以上, 上回った質問事項のうち, 小・中学校に共通している質問事項は14問である。

① 「基礎・基本」定着状況調査 学校質問紙

※数値は割合の差を表す(指定校-指定校以外)

質問事項	差	
	小学校	中学校
(1) ①児童(生徒)が, 振り返りをするときには, 「もっと考えてみたいこと」, 「もっと調べてみたいこと」, 「もっと工夫してみたいこと」などを考えるような指導を工夫した。	16.4	13.2
(2) ③「広島県教育資料」を活用した研修を行った。	13.7	18.6
(2) ④「基礎・基本」定着状況調査報告書や広島県学力調査報告書の指導改善事例を活用した授業研究を行った。	28.0	33.0
(3) 各教科等のねらいを達成するために, 授業において, 言語活動の充実を図った。	21.1	20.1
(4) 外国語活動(外国語(英語))の指導について, 中学校(中等教育学校, 中学部)(小学校(小学部))と連携した。	18.7	24.8
(5) 学習規律(聞く姿勢, 発表の仕方, ノートの取り方など)の指導について, 計画的, 継続的に中学校(中等教育学校, 中学部)(小学校(小学部))と連携した。	45.2	42.2

② 全国学力・学習状況調査 学校質問紙

※数値はポイントの差を表す(指定校-指定校以外)

質問事項	差	
	小学校	中学校
(30) 調査対象学年の児童(生徒)に対して, 前年度までに, 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	29.3	27.1
(31) 調査対象学年の児童(生徒)に対して, 前年度までに, 各教科等の指導のねらいを明確にした上で, 言語活動を適切に位置付けましたか	15.2	25.1
(32) 調査対象学年の児童(生徒)に対して, 前年度までに, 様々な考えを引き出したり, 思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	10.5	20.4
(34) 調査対象学年の児童(生徒)に対して, 前年度までに, 授業で扱うノートに, 学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	18.0	32.3
(50) 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し, 学校全体で成果や課題を共有しましたか	17.8	31.1
(51) 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について, 調査対象学年・教科だけではなく, 学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	21.8	34.0
(54) 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し, 具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	22.2	27.9
(小80・中79) 教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校(小学校)と連携(教師の合同研修, 教師の交流, 教育課程の接続など)を行っていますか	32.3	38.6
(小94・中92) 調査対象学年の児童(生徒)に対して, 前年度までに, 家庭学習の課題の与え方について, 校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数(数学)共通)	13.3	11.1
(小96・中94) 調査対象学年の児童(生徒)に対して, 前年度までに, 家庭学習の取組として, 児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数(数学)共通)	20.1	15.6
(小102・中100) 教員が, 他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	14.5	26.0
(小105・中103) 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては, 教職員同士が協力し合っていますか	14.1	15.9
(小106・中104) 知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	11.2	12.7
(小107・中105) 言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	13.8	18.1